



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 全研本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7371 URL <https://www.zenken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 順之亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鷺谷 将樹 (TEL) 03-3349-0451
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	5,559	△4.0	715	△62.4	721	△62.2	414	△67.4
2022年6月期第3四半期	5,792	28.9	1,901	120.7	1,907	114.5	1,270	109.4

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 426百万円(△66.4%) 2022年6月期第3四半期 1,268百万円(105.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	34.43	32.30
2022年6月期第3四半期	107.04	98.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	14,647	12,335	84.2
2022年6月期	15,288	12,147	79.5

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 12,335百万円 2022年6月期 12,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年6月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日を配当基準日とする配当予想額は未定であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,048	4.5	1,227	△47.6	1,262	△46.3	874	△44.8	73.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年6月期3Q	12,032,700株	2022年6月期	11,982,700株
2023年6月期3Q	一株	2022年6月期	一株
2023年6月期3Q	12,024,154株	2022年6月期3Q	11,870,779株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2023年5月12日(金)にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けておりましたが、徐々に行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化に向けた動きがみられます。一方で、急速な円安や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、原材料費の高騰、複数の銀行の経営破綻などにみられる金融不安等の影響もあり、世界経済や国内景気、企業収益への影響は、依然として先行きの見通しが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、ITセグメント（コンテンツマーケティング事業、メディア事業、AI事業）と語学セグメント（法人向け語学研修事業、留学斡旋事業、日本語教育事業）を中心に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を一定程度受けておりますが、当社グループが持つ「IT」「語学」の各事業の強みを活かし、グローバル・インバウンド（日本国内における国際化）に向けた事業展開を推進してまいりました。

以上のような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,559,991千円と前年同四半期連結累計期間と比べ232,955千円（4.0%）の減収、営業利益は715,386千円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,186,329千円（62.4%）の減益、経常利益は721,601千円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,186,386千円（62.2%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は414,001千円と前年同四半期連結累計期間と比べ856,681千円（67.4%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

a. ITセグメント

当セグメントの主力事業は、主にWEB検索市場におけるマーケティング戦略を通じ、クライアントに対する集客支援を展開する「コンテンツマーケティング事業」です。当該事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,711,670千円と前年同四半期連結累計期間と比べ64,464千円（2.4%）の増収となりました。当第3四半期連結累計期間においても、前連結会計年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を受け、展示会等で集客を行っていたBtoB（電機・機械等）の業種のメディアの公開を中心に拡大しております。当四半期連結累計期間においては、秋以降、受注は回復傾向にあるものの、夏場において受注が思わしくなかった影響が大きく、218件のメディア公開となっております（前年同四半期連結累計期間比74件減）。また、運用メディア数につきましては、公開メディア数が伸び悩んだことや、一定程度、解約も生じていることもあり、1,204件となっております（前年同四半期連結累計期間比92件減）。運用メディアの平均継続期間については、41.9カ月となっております（前年同四半期連結累計期間比4.3カ月増）。BtoB（電機・機械等）の業種については、既存のメディアと比較して規模が大きくなるケースが多く、まだ専門メディアのない業種も多いため、引き続き市場開拓を進めております。一方で、前年同四半期連結累計期間と比べ、外注費等が245,733千円、人員の増強に伴う人件費が195,858千円等と費用も増加しております。

また、AI事業においては、当第3四半期連結累計期間の売上高は、862,259千円と前年同四半期連結累計期間と比べ588,646千円（40.6%）の減収となりました。主な要因としては、子会社である株式会社サイードが開発した新型コロナウイルスワクチン接種専用予約管理システムに係る売上が486,258千円と前年同四半期連結累計期間と比べ630,063千円（56.4%）減少したことによります。さらに、前年同四半期連結累計期間と比べ、研究開発費104,621千円や販売費24,896千円等と費用も増加しております。

以上の結果、売上高は4,282,495千円と前年同四半期と比べ410,273千円（8.7%）の減収、セグメント利益は915,577千円と前年同四半期と比べ1,144,238千円（55.6%）の減益となりました。

b. 語学セグメント

当セグメントが属する語学教育業界においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を受けておりましたが、各国政府による渡航制限措置や入国制限措置の緩和などの影響により改善の兆しも見受けられます。当第3四半期連結累計期間においては、前年同四半期連結累計期間よりも多くの留学生を送り出すことができたものの、今後については、円安の影響について懸念しております。運営する日本語学校においては、2022年4月以降、ビジネスで通用する日本語の習得をすべく、海外から多くの学生が入学しており、大幅に在籍者数が増加しております。主力である、法人向け語学研修事業においては、入国された海外の方に向けた日本語研修や海外赴任に向けた方向への研修が増加傾向にあるものの、引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況等に応じて、対面型の研修、オンライン型の研修を実施しております。

その結果、売上高は570,706千円と前年同四半期連結累計期間と比べ29,299千円（5.4%）の増収、セグメント利益は64,498千円と前年同四半期連結累計期間と比べ31,324千円（94.4%）の増益となりました。

c. 不動産セグメント

当セグメントにおきましては、「全研プラザ」、「Zenken Plaza II」の賃貸を中心に行っております。

その結果、売上高は347,841千円、と前年同四半期と比べ2,397千円（0.7%）の増収、セグメント利益は249,597千円と前年同四半期と比べ17,250千円（7.4%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産の残高は5,116,504千円（前連結会計年度末比1,685,777千円の減少）となりました。これは主に、株式会社スタイル・エッジ・グループとの資本業務提携に伴う投資有価証券の取得960,000千円や、法人税等の納税及び配当金の支払い等により現金及び預金が2,128,177千円減少したことによるものです。固定資産の残高は9,531,252千円（前連結会計年度末比1,045,456千円の増加）となりました。これは主に、上記、資本業務提携に伴う投資有価証券の取得により投資有価証券が977,427千円増加したことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、14,647,756千円（前連結会計年度末比640,320千円の減少）となりました。

(負債)

流動負債の残高は1,318,838千円（前連結会計年度末比823,350千円の減少）となりました。これは主に、未払法人税等が647,312千円減少したことによるものであります。固定負債の残高は993,169千円（前連結会計年度末比5,508千円の減少）となりました。これは主に、株式会社ヒノキヤレスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：上村 耕一）より有料老人ホーム運営事業等の譲受けに伴い、リース負債等が増加した影響で、固定負債のその他が64,077千円増加したこと、繰延税金負債が41,779千円増加したことと、約定弁済により長期借入金が111,366千円減少したことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,312,008千円（前連結会計年度末比828,859千円の減少）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、12,335,748千円（前連結会計年度末比188,538千円の増加）となりました。これは主として、配当金の支払いにより、利益剰余金が239,654千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を414,001千円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想詳細につきましては、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は、2023年6月期も継続すると仮定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,071,533	3,943,355
売掛金	434,298	550,720
棚卸資産	56,768	50,202
その他	239,681	572,225
流動資産合計	6,802,281	5,116,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,798,109	2,909,106
減価償却累計額	△1,463,926	△1,516,246
建物及び構築物(純額)	1,334,182	1,392,859
工具、器具及び備品	63,969	69,178
減価償却累計額	△46,095	△51,216
工具、器具及び備品(純額)	17,873	17,961
土地	6,019,746	6,019,746
リース資産	46,841	79,755
減価償却累計額	△40,759	△14,487
リース資産(純額)	6,082	65,267
その他	20,666	21,036
減価償却累計額	△20,666	△20,670
その他(純額)	0	365
有形固定資産合計	7,377,885	7,496,200
無形固定資産		
借地権	602,194	602,194
その他	30,881	16,930
無形固定資産合計	633,075	619,124
投資その他の資産		
投資有価証券	82,943	1,060,370
繰延税金資産	138,941	98,058
敷金	183,375	180,054
その他	135,611	141,307
貸倒引当金	△66,037	△63,864
投資その他の資産合計	474,833	1,415,926
固定資産合計	8,485,795	9,531,252
資産合計	15,288,077	14,647,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	438,443	302,556
短期借入金	100,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	148,488	148,488
未払費用	69,618	85,837
前受金	592,907	572,556
未払法人税等	656,916	9,604
賞与引当金	79,312	104,985
その他	56,502	69,810
流動負債合計	2,142,189	1,318,838
固定負債		
長期借入金	702,536	591,170
繰延税金負債	-	41,779
長期預り敷金	289,526	289,526
その他	6,616	70,693
固定負債合計	998,678	993,169
負債合計	3,140,867	2,312,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,276	433,326
資本剰余金	616,246	617,296
利益剰余金	11,081,354	11,255,702
株主資本合計	12,129,878	12,306,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,331	29,422
その他の包括利益累計額合計	17,331	29,422
純資産合計	12,147,209	12,335,748
負債純資産合計	15,288,077	14,647,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	5,792,947	5,559,991
売上原価	2,009,261	2,620,617
売上総利益	3,783,686	2,939,374
販売費及び一般管理費	1,881,969	2,223,987
営業利益	1,901,716	715,386
営業外収益		
受取手数料	3,191	6,762
助成金収入	3,582	2,700
貸倒引当金戻入額	4,226	2,173
その他	476	1,125
営業外収益合計	11,476	12,761
営業外費用		
支払利息	3,236	2,659
為替差損	1,820	3,887
貸倒引当金繰入額	148	-
営業外費用合計	5,205	6,546
経常利益	1,907,987	721,601
特別利益		
負ののれん発生益	-	2,343
特別利益合計	-	2,343
特別損失		
固定資産除売却損	-	198
事業譲渡損	7,191	-
特別損失合計	7,191	198
税金等調整前四半期純利益	1,900,796	723,746
法人税、住民税及び事業税	667,360	234,883
法人税等調整額	△37,247	74,861
法人税等合計	630,113	309,744
四半期純利益	1,270,682	414,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,270,682	414,001

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,270,682	414,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,982	12,091
その他の包括利益合計	△1,982	12,091
四半期包括利益	1,268,700	426,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,268,700	426,092

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IT	語学	不動産	計		
財又はサービスの種類別						
コンテンツマーケティング	2,647,205	—	—	2,647,205	—	2,647,205
メディア	594,657	—	—	594,657	—	594,657
AI	1,450,905	—	—	1,450,905	—	1,450,905
語学	—	541,406	—	541,406	—	541,406
その他	—	—	—	—	213,327	213,327
顧客との契約から生じる収益	4,692,768	541,406	—	5,234,175	213,327	5,447,503
収益認識の時期別						
一時点で移転される財又はサービス	1,055,718	478,606	—	1,534,324	212,427	1,746,752
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,637,050	62,800	—	3,699,850	900	3,700,750
顧客との契約から生じる収益	4,692,768	541,406	—	5,234,175	213,327	5,447,503
その他の収益	—	—	345,443	345,443	—	345,443
外部顧客への売上高	4,692,768	541,406	345,443	5,579,619	213,327	5,792,947
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,000	—	12,581	14,581	8,864	23,445
計	4,694,768	541,406	358,025	5,594,201	222,191	5,816,392
セグメント利益	2,059,815	33,173	232,347	2,325,336	49,153	2,374,489

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、採用事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,325,336
「その他」の区分の利益	49,153
全社費用(注)	△472,772
四半期連結損益計算書の営業利益	1,901,716

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IT	語学	不動産	計		
財又はサービスの種類別						
コンテンツマーケティング	2,711,670	—	—	2,711,670	—	2,711,670
メディア	708,565	—	—	708,565	—	708,565
AI	862,259	—	—	862,259	—	862,259
語学	—	570,706	—	570,706	—	570,706
その他	—	—	—	—	358,948	358,948
顧客との契約から生じる収益	4,282,495	570,706	—	4,853,201	358,948	5,212,150
収益認識の時期別						
一時点で移転される財又はサービス	912,785	478,391	—	1,391,176	314,846	1,706,023
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,369,710	92,314	—	3,462,025	44,101	3,506,126
顧客との契約から生じる収益	4,282,495	570,706	—	4,853,201	358,948	5,212,150
その他の収益	—	—	347,841	347,841	—	347,841
外部顧客への売上高	4,282,495	570,706	347,841	5,201,043	358,948	5,559,991
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,400	—	16,765	18,165	21,246	39,412
計	4,283,895	570,706	364,607	5,219,209	380,195	5,599,404
セグメント利益又は損失(△)	915,577	64,498	249,597	1,229,672	△15,878	1,213,794

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外介護人材事業、採用事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,229,672
「その他」の区分の損失(△)	△15,878
全社費用(注)	△498,407
四半期連結損益計算書の営業利益	715,386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

当社は、2023年4月21日開催の取締役会において、当社が100%出資する連結子会社である株式会社サイシードの全ての株式をハヤテインベストメント株式会社に譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結、同年5月1日付で株式譲渡の手続きを完了いたしました。本取引に伴い、株式会社サイシードは、当社の第4四半期連結会計期間において、当社の連結の範囲から除外されることとなります。

1. 株式譲渡の理由

株式会社サイシードは、主にAI（人工知能）を活用し顧客との1to1コミュニケーションを可能とするチャットボット「sAI Chat」、顧客の入力した自然文（≒話し言葉）を適切に捉え最適な回答を提示する「sAI Search」等のサービスを提供してまいりました。また、2021年3月より新型コロナウイルスワクチン接種専用予約管理システムの迅速な開発を実現し、大きく業績を伸ばして当社グループの成長にも貢献しております。

一方で、チャットボットを取り巻く事業環境は目まぐるしく変化しており、主力サービスにおける競争力の維持・強化のためには一定のスケールが求められている状況です。こうした状況を鑑み、当社は、ディープ・テック事業に豊富な知見を有するハヤテインベストメント株式会社に株式会社サイシードの株式を全て譲渡し、IT事業と語学事業を中心とした成長戦略により一層注力することが、株主価値の最大化に資するとの結論にいたりました。

2. 譲渡する相手会社の名称

ハヤテインベストメント株式会社

3. 譲渡の時期

2023年5月1日

4. 譲渡子会社の名称、事業内容及び会社との取引内容

名称 : 株式会社サイシード

事業内容 : AI事業、採用事業

当社との取引内容 : 当社との間で業務委託、資金の貸付等の取引関係があります。

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡する株式の数 : 1,600株

譲渡価額 : 譲渡価額は軽微です。

適切なデューデリジェンスを実施の上、公正妥当と考えられる金額にて譲渡しております。

譲渡後の持分比率 : ー%

6. 業績に与える影響

当社の2023年6月期連結決算において、株式会社サイシードの2022年7月～2023年4月の期間の損益を取り込む予定のため、本株式譲渡が通期の売上高・営業利益・経常利益の業績予想に与える影響は軽微ですが、本株式譲渡による関係会社売却損を特別損失として2.5億円程度（概算）計上する見込みです。